　　　年　　月　　日

公益社団法人電気化学会

広報委員長 殿

電気化学会Webサイト(ホームページ)開設利用申請書（新規・継続・変更）

下記の様に電気化学会サブドメインの利用申請を致しますので、おとりはからいの程、よろしくお願いいたします。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請者 | 【支部・専門委員会等名】  代表者【役　職・氏　名】  【電子メールアドレス】 | | | | |
| 利用期間 | 承認日　から　申請代表者任期満了時（　　　年　　月）まで | | | | |
| Webサイト利用目的 | 例：支部・委員会活動の告知・広報のため。 | | | | |
| サブドメイン名  （候補・新規のみ） | 1 |  | | | |
| 2 |  | | | |
| 3 |  | | | |
| https://\*\*\*\*\*\*\*.electrochem.jp/ の\*\*\*\*\*\*\*に当てはまる文字列です。  使用できる文字：英小文字・数字・\_(アンダーバー)、-（ハイフン）、.（ピリオド）に限定します。 | | | | |
| 利用サーバーサービス | Webサーバ運用・Webコンテンツの保守 | | | | |
| 外部委託の有無 | 無・有　（「有」の場合、下記の項目を記入して下さい） | | | | |
| 外部委託先 | 名　称 | |  | | |
| 住　所 | |  | | |
| 代表者 | |  | | |
| Web管理者 | |  | | |
| アカウントおよびパスワードを共有する者  （外注先も含みます。原則、個人管理のメールアドレスに限ります。外注先においてグループ等で共有する場合は、代表者名を含めてください。） |  | 氏名 | | 所属・役職 | メールアドレス |
| 1 |  | |  |  |
| 2 |  | |  |  |
| 3 |  | |  |  |
| 4 |  | |  |  |
| 5 |  | |  |  |
| 6 |  | |  |  |
| 7 |  | |  |  |
| 8 |  | |  |  |
| 9 |  | |  |  |
| 10 |  | |  |  |
| コンテンツの保管  （方法は別紙に記載） | 有（本会は国立国会図書館インターネット資料収集保存事業に協力しています。原則としてコンテンツの保管に協力していただきます） | | | | |
| 連絡先 | ○○○委員会事務局長　○○　○○  【事務局長電子メールアドレス】 | | | | |

上記サブドメイン申請にあたり、以下の事項について遵守します。

* Webサイトの利用開始に必要なアカウントおよびパスワード申請は広報委員会から委託業者に連絡し、その後の利用開始における動作確認は申請者が行う。なお、承認と設定に日数を要するため、即時発行はできない。
* Webサイトの開設および送受信の確認作業が完了した時点で申請者から広報委員会([wwwadmin@electrochem.jp](mailto:wwwadmin@electrochem.jp))に報告する。
* Webサイト利用期間は代表者任期満了までの利用状況を確認の上、本会指定の書面による手続により更新する。
* 上記の利用目的以外の目的で利用する場合は、Webサイトの変更申請を行う。
* Webサイト運用については原則として電気化学会インターネットサービス運用規程を適用する。
* 国立国会図書館WARP事業に基づくWebコンテンツ取得に同意する。
* セキュリティを伴う出版物をサーバーに保存する場合には、その保全方法を別紙に附記する。
* 広報が必要なインシデント発生時には、直ちに広報委員会([wwwadmin@electrochem.jp](mailto:wwwadmin@electrochem.jp))に報告し、必要に応じて経過を報告する。また、セキュリティや運用上に事故や問題があり、電気化学会のドメインに影響が生じたり、名誉が棄損されたりすることが生じる可能性がある場合（例えばのっとり）、予告なくドメインサーバーから遮断するなどの対応をとる。
* Webページの運用を終了する場合は、本部がその内容を継承し、Webコンテンツの保全を行う。WARP事業に保管されている場合は、状況に応じてコンテンツの削除を行う。

以上

上記承認致します。　　　　　　　　　年　　月　　日　　　　　広報委員長

別紙

年　月　日

出版物の保全について

・出版物名　○○○○ (ISSN xxxx-xxxx)

・連絡先　○○○委員会事務局長　○○　○○

【事務局長電子メールアドレス】

・認証の有無　　有　・　無

・保全方法

認証無の場合　例：WARP事業による国会図書館による保全

認証有の場合　例：○○○委員会事務局においてSSDなどにバックアップを保存